

起業家表彰制度の東海・北陸代表

石川伸氏（おとしきわ社長）ら選出

来月、日本大会に出場へ

新日本有限責任監査法人などで構成する実行委員会は4日、名古屋マリオットアソシアホテルで起業家の表彰制度「EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2016ジャパン」の東海

・北陸大会を開催し、日本大会に進む3人の起業家を選出した。

大会では、12人の候補者の中から東海・北陸地区の代表として、寿美家和久（津市）の小清水丈久社長、おどうふ工房いしかわ（高浜市）の石川伸社長、タナック（岐阜市）の棚橋一成

社長を選出。3人の起業家は、11月29日に開催される日本大会に出場する。

また、候補者全員が、東海・北陸の起業家を表彰する「東海・北陸アントレプレナー賞」を授賞した。

代表に選出された石川社長は「日本の伝統食を支える企業の代表として頑張りたい」と力強く語った。
EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤーは、新たな事業に挑戦する起業家を表彰する国際的な制度。日本では2001年から始まり、毎年表彰を行っている。



11月の日本大会に出場する
3人の起業家